

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第78号 平成21年8月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山地域 達目洞の保全活動、大洞地域 現地植生調査

- ・達目洞で岐阜農林高生がインターンシップ（8月15日）
- ・岐阜大学が大洞の湿地環境を調査（7月28日）

○達目洞で岐阜農林高生がインターンシップ

8月15日（土）に、達目洞の保全活動が行われ、岐阜農林高等学校の学生の皆さんが、社会インターンシップ活動の一環として参加してくれました。参加した学生たちは、環境に関する分野を学んでいるということで、達目洞に残された自然環境がなぜ貴重なのか、外来植物がなぜ自然環境に影響を与えるのかについて、達目洞自然の会の方から説明を受けた上で、活動に参加してもらいました。

学生の皆さんには休耕田や畦道沿いに生えている外来植物「アメリカセンダングサ」を重点的に除草してもらいました。約2時間程度の活動で、目につく外来植物はほとんどなくなり、学生の皆さんは本当によく頑張ってくれました。

このような活動が社会経験の場として認知され始めていると思うと、とても心強いですね。



○岐阜大学が大洞の湿地環境を調査

芥見東まちづくり協議会が森林整備活動に取り組んでいる森林や湿地環境について、岐阜大学地域科学部の肥後研究室が継続的に調査を行っています。7月28日（火）に実施した調査では、休耕田跡の湿地に広がる植物群落の調査を行いました。むっとするような草いきれの中、勢いよく伸びた植物たちに埋もれ泥だらけになりながら、地道に植物を記録していきます。

また、同研究室の現地調査により、湿地を取り巻く一帯の森は、里山を代表するコナラとアカマツ、また、戦後に植林されたヒノキ林で構成されていることが分かりました。

今後、このような調査結果を踏まえ、この湿地環境とそれを取り巻く森をどのように保全して行くのか、まちづくり協議会と岐阜大学と一緒に検討していきます。



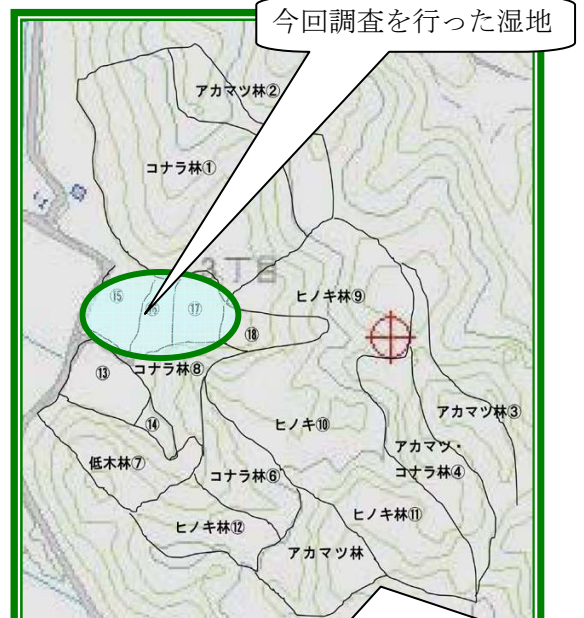
湿地環境の調査を行い、どのような植物で構成されているのかを把握します。

○おわりに

自然環境保全活動に学校が参画するケースが増えています。また、大学との連携により、より専門的な自然環境保全のあり方についての検討も始まりました。

地域住民を始めとして、NPOや地元の学校、有識者、行政が連携して自然環境に取り組むことで、活動の幅も深みも大きく広がっていく場面を目にする機会が増えてきました。今後、実際にどのような成果があったのかを検証していくことで、更に良い市民活動の在り方が示されるのではないかと期待しています。

なお、大洞の湿地のそばで大きなスズメバチの巣を発見しました。野外活動の際は、十分に注意をしてくださいね。



今回調査を行った湿地

岐阜大学の調査により、まちづくり協議会が森林整備に取りかかろうとしている森林の様子が明らかになりました。



休耕田跡の湿地には、ガマの群落広がった場所があったり、ハスが広がっている場所も見られます。



岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>